

Julius Bär

プレスリリース
Julius Baer Group Ltd.

ジュリアス・ベア、年刊『ウェルスレポート：日本』第3号をリリース

Julius Baer Group Ltd.の子会社で、日本の富裕層個人のための「一任運用」資産管理に重点を置いたジュリアス・ベア・ウェルス・マネジメント (JBWM) は、日本市場に特化した年刊の『ウェルスレポート』第3号を本日発刊しました。このレポートは『ジュリアス・ベア ウェルスレポート：アジア』の出版に続くもので、この地域における富裕層の理解を図る当グループの取り組みを強調しています。さらにジュリアス・ベアはジュリアス・ベアライフスタイル指数についての研究も進め、日本を含むアジア諸国での高級な生活コストについて深堀りしています。

a

チューリッヒ/東京、2016年11月18日 - ジュリアス・ベアはこの度、『ウェルスレポート：日本』の第3号を刊行いたしました。今号には主に次の3つの要素が含まれています。

第1に、このレポートは人口動態と実勢経済との間の相関性について、グローバルな議論における日本の事情を検証します。高齢化社会は、自動的にデフレと真っ向から対立するものなのでしょうか？ インフレとデフレのどちらか一方の恩恵を受ける異なる年齢層間での妥協点はどこなののでしょうか？ 日本人消費者が現在の環境においてどのように行動しているのかを本当に理解するために、正しい指標を使った測定ができていますのでしょうか？ 端的に言うと、このセクションでは日本経済について一般的に抱かれている数々の想定への挑戦を試みます。

第2に、今年のジュリアス・ベア ライフスタイル指数からの発見に、特に東京を重点として光を当てます。全体的に、アジア諸国の贅沢なライフスタイルの生活コストは、2015年から2016年にかけて米ドル建てで1.68%減少しました。ところが日本では、高級旅行関連品目が円建てで2桁増を記録しており、これは特筆に値します。公式な統計を見ると、日本が世界各地からの高所得者の主要な旅行先となることが浮き彫りになっており、日本をラグジュアリー消費の最前線に位置しています。ジュリアス・ベアでは、中長期的に見てもこのトレンドが継続していくものと予想しています。

最後に『ウェルスレポート：日本』では、日本人家計のバランスシートの中で非常に高水準となっている現金について考察し、この現象の背景にある理由を探ります。従来のポートフォリオ理論では、現金は「余剰資金」とされることが多くありました。しかし、特に低金利やマイナス金利、さらには物価下落圧力が背景にある現状において、この想定はまだ生きていますのでしょうか？ 比較的高水準の現金を投資家のポートフォリオの中で使う戦術的メリットは何でしょうか？ ジュリアス・ベアでは、低インフレや超低金利が常態化している世界において、この点について日本の経験から学ぶ教訓が重要性を持つと考えています。

2016年版『ジュリアス・ベア ウェルスレポート：日本』は英語版と日本語版が当グループホームページ www.juliusbaer.com より入手可能です。

お問い合わせ

アジア メディアリレーションズ部 電話：+852 2899 4889

チューリッヒ メディアリレーションズ部 電話：+41 58 888 8888

エデルマン・ジャパン株式会社 電話：03-4360-9000 メール：ayako.okamoto@edelman.com

Julius Baer Group Ltd.

Bahnhofstrasse 36, P.O. Box, 8010 Zurich, Switzerland

T +41 (0) 58 888 1111, F +41 (0) 58 888 5517

www.juliusbaer.com

ジュリアス・ベアについて

ジュリアス・ベアは業界をリードするスイスのプライベートバンキンググループです。当グループは一流の個人のお客様を対象としたサービスや助言を提供することを業務の柱に据え、グローバル資産運用において最高クラスのブランド知名度を誇ります。総資産運用額は2016年10月末時点で3,270億スイスフランにのびます。ジュリアス・ベア銀行 (Bank Julius Baer & Co. Ltd.) は1890年に創業したスイスの著名なプライベートバンクであり、ジュリアス・ベア・グループの主要事業会社です。当グループはスイス証券取引所に上場し (ティッカーシンボル: BAER)、時価総額および流動性が最も高い20銘柄で構成されるスイス・マーケット・インデックス (SMI) の構成銘柄でもあります。

当グループは現在1,400人以上のリレーションシップ・マネージャーを含む6,000人を越えるスタッフを抱え、25ヵ国以上に50ヵ所を超える拠点を持っています。チューリッヒ本社その他、東京、ドバイ、フランクフルト、ジュネーブ、香港、ロンドン、ルクセンブルク、ミラノ、モナコ、モンテビデオ、モスクワ、ムンバイ、シンガポールなどの主要都市に事業所を置いています。お客様第一主義、オープンな独自の運用商品基盤に基づく客観的なアドバイス、強固な財務基盤、進取の気性に富んだ経営文化に支えられて、当グループはプライベートバンキングの国際標準として認められています。

詳しくは当グループホームページ www.juliusbaer.asia をご覧ください。

ジュリアス・ベア・ウェルス・マネジメントについて

ジュリアス・ベア・ウェルス・マネジメントは、チューリッヒと東京に拠点を持つ、定評ある投資会社です。日本を拠点とする富裕層個人に対し、20年間にわたってオーダーメイドの「一任運用」投資ソリューションを提供して参りました。投資プロセスでは、特に通貨リスクに注意を払います。チームは市場サイクルのナビゲートに非常に長けているため、金融市場が困難な時期でもお客様の資本を保全いたします。